

分野:総合病態診療学

主科目 副科目	疼痛科学 Pain Science	DM_1507	区分	選択必修	授業形態	演習 (講義・実習含む)
------------	----------------------	---------	----	------	------	-----------------

担当	教 授	准 教 授	講 師	助 教	客員教授・その他
-					
ちば	◎青江 知彦				
-					

	疼痛科学Ⅰ（1年次）				疼痛科学Ⅱ（2年次）				疼痛科学Ⅲ（3年次）			
	単位	4単位	配当年次	1年・通年	単位	4単位	配当年次	2年・通年	単位	4単位	配当年次	3年・通年
概 要	(講義)慢性疼痛、癌性疼痛の病態の理解に必要な神経生理学、薬理学、解剖学を学ぶ。疼痛学研究に必要な生理実験、分子生物学実験、動物実験の方法論、法令、倫理を学ぶ。 (実習)疼痛外来、神経ブロックなどを指導の下に行う。疼痛学、ストレス反応などに関する生理実験、分子生物学実験、動物実験を指導の下に行う。 (演習)疼痛外来症例の病態を検討する。疼痛学、ストレス反応などに関する文献的な検討を行う。				(講義)慢性疼痛、癌性疼痛の病態の理解に必要な神経生理学、薬理学、解剖学を学ぶ。疼痛学研究に必要な生理実験、分子生物学実験、動物実験の方法論、法令、倫理を学ぶ。 (実習)疼痛外来、神経ブロックなどを行う。疼痛学、ストレス反応などに関する生理実験、分子生物学実験、動物実験を行う。 (演習)疼痛外来症例に関連した文献的な考察、検討を行う。研究の進展に応じて、関連した疼痛学、ストレス反応などに関する文献的な検討を行う。				(講義)慢性疼痛、癌性疼痛の病態に関連した基礎的、臨床的なトピックスを学ぶ。 (実習)疼痛外来、神経ブロックなどを主体的に行う。疼痛学、ストレス反応などに関する生理実験、分子生物学実験、動物実験を構想し、行う。 (演習)疼痛外来症例をもとに、関連した文献的な考察、検討を行い、臨床研究、基礎研究を構想する。研究の進展に応じて、関連した疼痛学、ストレス反応などに関する文献的な検討を行い、学会発表、論文作成の準備を進める。			
到達目標	1. 疼痛治療、手術麻酔に必要な解剖、生理、病理、薬理を理解する。 2. 基本的な臨床手技を習得する。 3. 疼痛学研究に必要な神経生理学、分子生物学の基本的な知識、実験手技を習得する。				1. 実際の患者について、主観的な訴え、客観的な観察、検査所見によってその病態を把握する。 2. 患者と良好なコミュニケーションを築く。 3. 個々の患者に応じた治療計画を立案し、実施する。 4. 指導者の下で疼痛学研究を進める。				1. 患者との臨床経験を通して学会ガイドラインでも対応出来ない課題を認識する。 2. そうした課題を探索する基礎実験、動物実験を立案、実施する。 3. 臨床研究、臨床応用の可能性を検討する。			
事前事後学修	ペインクリニック、神経科学の教科書、ガイドラインを適宜参照 1回の授業に対して、予習・復習それぞれ30分程度が必要である。				ペインクリニック、神経科学の教科書、ガイドラインを適宜参照 1回の授業に対して、予習・復習それぞれ30分程度が必要である。				ペインクリニック、神経科学の教科書、ガイドラインを適宜参照 1回の授業に対して、予習・復習それぞれ30分程度が必要である。			
評価方法	受講態度(発表、課題提出) 50% レポート 50%				受講態度(発表、課題提出) 50% レポート 50%				受講態度(発表、課題提出) 50% レポート 50%			

■主な演習(講義・実習含む)

	疼痛科学Ⅰ (1年次)	疼痛科学Ⅱ (2年次)	疼痛科学Ⅲ (3年次)
－	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :
	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :
ち ば	月 曜日 9 : 00 ~ 16 : 00 疼痛外来・神経ブロック	月 曜日 9 : 00 ~ 16 : 00 疼痛外来・神経ブロック	月 曜日 9 : 00 ~ 16 : 00 疼痛外来・神経ブロック
	月 曜日 16 : 00 ~ 17 : 00 疼痛外来症例検討会	月 曜日 16 : 00 ~ 17 : 00 疼痛外来症例検討会	月 曜日 16 : 00 ~ 17 : 00 疼痛外来症例検討会
	木 曜日 17 : 00 ~ 17 : 30 疼痛科学概論	木 曜日 17 : 00 ~ 17 : 30 疼痛科学概論	木 曜日 17 : 00 ~ 17 : 30 疼痛科学概論
－	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :
	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :

教科書・参考書

ペインクリニック学会治療指針改訂第5版、神経障害性疼痛薬物療法ガイドライン、Bonica's Management of Pain, Molecular Biology of the Cell

その他履修上の注意事項

疼痛関連の神経科学、分子生物学研究を行い、研究成果を国内外の学会で発表し、論文にまとめる。研究と並行して、ペインクリニック学会専門医、麻酔科学会専門医の取得も目指す。研究成果が早期に得られれば希望により国内外の他施設で臨床研修あるいは研究を行うことも可能。
試験やレポート等に対し、講義の中での解説等のフィードバックを行う。この科目と学位授与方針との関連をカリキュラムマップを参照し理解すること。

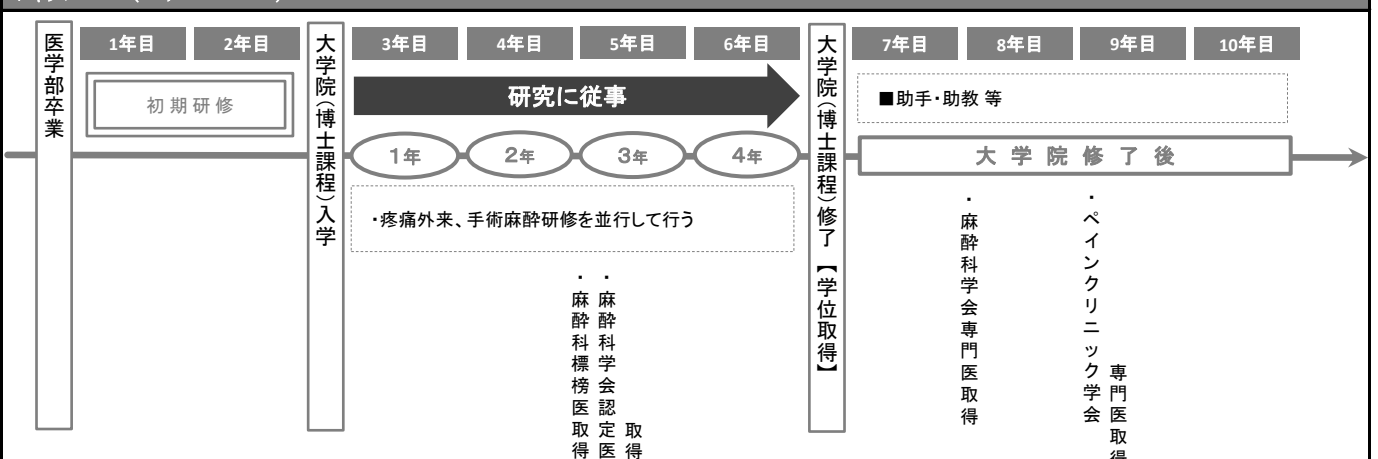
副科目 脳神経科学、生化学/臨床医科学、神経薬理学、麻酔科学、緩和医療学

共通科目

関連する専門医資格

・麻酔科標榜医 ・麻酔科学会認定医 ・麻酔科学会専門医 ・ペインクリニック学会専門医

キャリアパス(モデルコース)



※社会人枠のキャリアパスについては各講座にお問い合わせください。